

子育て支援員研修制度に関する検討会 第5回専門研修WT(社会的養護)	資料 3
平成26年12月15日	

子育て支援員専門研修(社会的養護)の科目・内容(案)

(見え消し版)

子育て支援員専門研修(社会的養護)の科目・内容(案)①

(研修科目の考え方)

専門研修(社会的養護)の科目は、子育て支援の分野での業務に従事することができるような基本研修を修了していることを前提に、社会的養護の補助的な支援者として従事する上で必要な社会的養護における基本的な知識や技術を習得する科目とする。

(第4回専門研修WT(社会的養護)における構成員からの意見を反映)

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
1. 社会的養護の理念				
(1)社会的養護の理解	講義	60分	①社会的養護とは ②子ども家庭福祉、社会的養護の理念 ③社会的養護体系について ④社会的養護の課題と将来像 ⑤社会的養護と自立支援	①社会的養護の概要について、その背景となる社会の課題とともに理解する。 ②社会的養護の基本理念を理解する。 ③社会的養護の体系を理解する。 ④社会的養護の課題と将来像を理解する。 ⑤社会的養護における子どもの自立支援について、アセスメントや自立支援計画の意義を含めて理解する。
(2)子ども等の権利擁護対象者の尊厳の遵守 職業倫理	講義	60分	①子ども・ 保護者 の最善の利益 ②子ども・保護者の意見表明、苦情解決の仕組み ④③被措置児童等虐待の防止 ③④養育者・支援者の資質、メンタルヘルス ※子ども・母子生活支援施設利用者保護者を「子ども等」と標記。	①「児童の権利に関する条約」、国連「児童の代替的養護に関する指針」を踏まえ、そこに掲げられた子どもの最善の利益を尊重した支援の提供のため、「 子ども等の最善の利益 」について理解する。 ②子ども・ 保護者等 の意見表明と苦情解決の仕組みを理解する。 ④③被措置児童等虐待及び防止に向けた取り組みについて理解する。 ③④養育者・支援者の心身の健康が子ども等の心身の健康に結びついていることを理解する。

(参考) 基本研修の科目・内容(案)

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
3. 特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目				
⑥子ども虐待と社会的養護	講義	60分	＜子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解＞ ①子ども虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③虐待を受けた子どもに見られる行動 ④子どもの権利を守る関わり ⑤社会的養護の現状	①子ども虐待(家庭における配偶者に対するDVを含む)とその影響(虐待を受けた子どもに見られる行動など)理解する。 ②虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ③子どもの最善の利益を尊重するための援助について理解する。 ④社会的養護の意義と現状の概要について理解する。 ⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する

※ ④社会的養護の実施体制については専門研修において行うものとしてはどうかとの意見あり。

子育て支援員専門研修(社会的養護)の科目と内容(案)②

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
2. 対象者の理解				
(3)社会的養護を必要とする子どもの理解	講義 演習	90分	①発達段階ごとの理解 ②発達支援を必要とする子どもの理解 ③虐待が子どもに及ぼす影響 ④保護者からの分離を体験した子どもの理解 ⑤支援者からの二次被害	① 子どもの発達段階について理解する。 ②発達支援を必要とする子どもの特性を理解する。 ③虐待が子どもに及ぼす影響について理解する。 ④保護者からの分離を体験した子どもの特性や愛着障害について理解する。 ⑤支援者からの二次被害について理解する。
(4)家族との連携	講義	60分	①家族との連携の意義 ②支援を必要とする保護者との連携 ③ 保護者家族再構築 支援の実際	①子どもの自立の過程において必要不可欠な子どもと家族との関係の意義を理解する。 ②保護者の抱える困難(障害、DV、貧困等)を理解する。 ③ 家族再構築支援 ペアレントトレーニングなどの保護者支援の実際を理解する。
(5)地域との連携	講義	60分	①関係機関の理解 ②地域との連携の意義 ③より専門的な支援を必要とする場合の関係機関(医療機関等)との連携について	①子どもを支援する関係機関、保護者を支援する関係機関の名称や役割を理解する。 ②地域に開かれた養育のため、地域との連携の意義を理解する。 ③より専門的な支援を必要とする子どもに対する関係機関との連携について理解する。

子育て支援員専門研修(社会的養護)の科目と内容(案)③

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
3. 支援技術				
(6) 社会的養護を必要とする子どもの遊びの理解と実際	講義 演習	90分	①「遊び」の意義 ②年齢に応じた遊びの内容 ③配慮すべきこと	①社会的養護を必要とする子どもの「遊び」の意義を理解し、乳幼児期から児童期までの遊びの実際を体験する。 ②年齢に応じた「遊び」について理解する。 ③「遊び」を支援する際の基本的原則と配慮すべきことを理解する。
(7) 支援技術	演習	60分	①子どものニーズに応じたコミュニケーションスキル ②生活における支援 ③記録(日誌を含む)の書き方 ④個人情報の保護	①対人援助の基本である傾聴と共感・メッセージの伝え方等について理解する。 ②生活場面での関わり方(ほめ方、しかり方等)について理解する。 ④日誌を含む記録の書き方として、客観的事実と評価情報を区別することを理解する。 ⑤個人情報の保護と情報開示について理解する。
(8) 緊急時の対応	講義	60分	①子どもの発達段階における事故防止 ②緊急時の連絡対応について ③配慮を要する対応について ④現場で起こりうる危機場面について	①事故を未然に防ぐ予防策や緊急時の対応について理解する。 ②緊急時の連絡対応について理解する。 ③配慮を要する食物アレルギー等の対応について理解する。 ④子ども間の暴力等の危機場面の対応について理解する。 ⑤加害者対応について

8科目 9時間(540分)

子育て支援員専門研修(社会的養護)の科目と内容(案)④

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
4. 演習				
(9)施設等演習	演習	120分	①社会的養護の現場の理解(映画画像等) ②演習支援者とのグループワーク	①施設の概要を理解する。(映画画像視聴鑑賞等) ②施設職員等とのグループワークなどで実際の業務について理解する。
1科目 2時間 (120分) 画像による理解 30分、演習 90分				

子育て支援員専門研修(社会的養護)の科目と内容(案)⑥

○基本研修の科目と時間数(現時点案)

科 目	素案	
	時間	備考
①子ども・子育て 家庭の現状	60分	
②子ども家庭 福祉	60分	
③子どもの発達	60分	
④保育の原理	60分	
⑤対人援助の 価値と倫理	60分	
⑥子ども虐待と 社会的養護	60分	
⑦子どもの障害	60分	
⑧総合演習	60分	グループワーク 又は レポート提出等
合 計	7時間 +1時間	

○専門研修の科目と時間数(現時点案)

科 目	案	
	時間	備考
①社会的養護の理解	60分	
②子どもの権利擁護、対象者の尊厳の 遵守、職業倫理	60分	
③社会的養護を必要とする子どもの理 解	90分	講義と演習を含む
④家族との連携	60分	
⑤地域との連携	60分	
⑥社会的養護を必要とする子どもの遊 びの理解と実際	90分	講義と演習を含む
⑦支援技術	60分	記録の書き方を含む
⑧緊急時の対応	60分	
⑨施設等演習	120分	
専門研修 計	11時間	
基本研修+専門研修 合計	19時間	